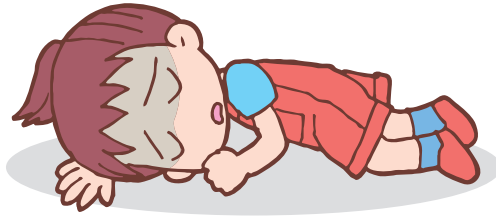
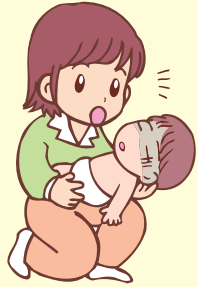


IV 胸骨圧迫・人工呼吸

意識を失っているときは、できるだけ早く胸骨圧迫を行うことが大切です。



まず意識があるかどうかを確認しましょう

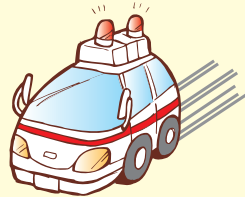


肩を(かるく)たたきながら大声でよびかけて、何らかの応答や目的のある仕草が見られなければ、「意識なし」として胸骨圧迫・人工呼吸を始めます。人工呼吸が出来ない状況では胸骨圧迫のみを強く速く行いましょう。



まわりに手伝ってくれる人がいない！

自分1人しかいないときには、まず胸骨圧迫を行ってください。(1分間約100回)
胸骨圧迫を行いながら人を集め、119番通報してください。



ひとがいたら AED の準備 (1人以上)

AED とは…

突然の心停止(心臓突然死)から命を救うための装置です。痙攣を起こした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻します。操作は音声ガイダンスにより指示され、電気ショックが必要かどうか AED が判断します。高度な専門知識を必要とせず、安心して簡単に操作することが出来る装置です。

一般市民による除細動

医師や救急救命士だけでなく、現場に居合わせた一般市民も AED が使用できるようになりました。また、最近では子どもへも使用が始まっています(小児用パッドが必要です)。これによって、一般市民による早期の除細動が実現すれば、突然の心停止からの救命率が向上すると期待されています。

●手順(小児・乳児の場合)

